

手にとって さとの恵み

「手にとる」とは、身近にあるものを自ら手にとっていただくことが地産地消につながる第一歩であり、それが食料自給率の向上へつながるとの思いが込められています。また、「さと」は、地場農産物の生産の場である日本の農村であり、その「恵み」は農産物や農村環境の豊かさを表しています。